

春日権現験記 20軸 WA31-13

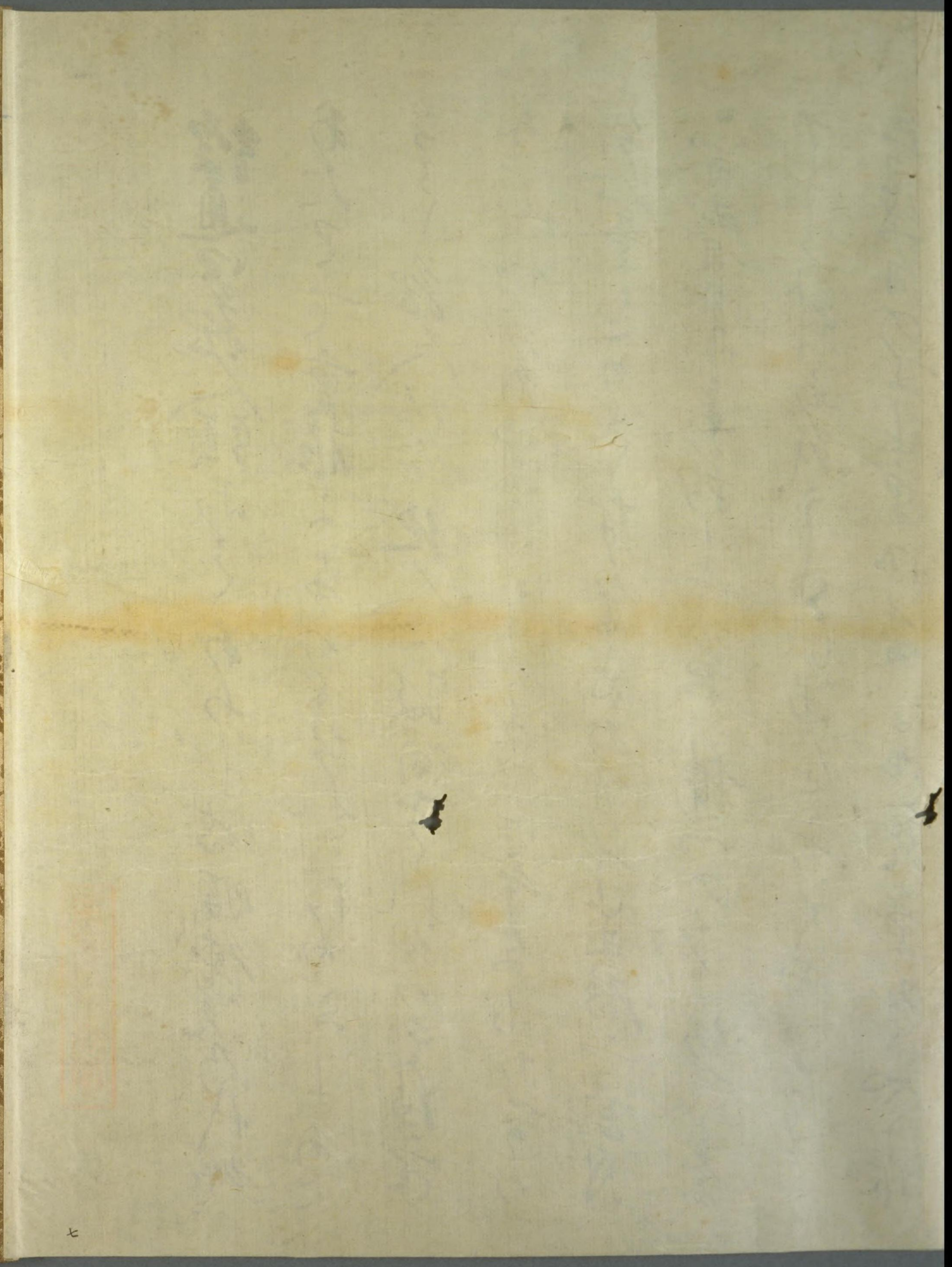
07-001



WA 31
13
(7)



国立国会図書館





經通口親領少くありし時順徳院乃代始
 あたてて重祚よありふれはわふしあこ
 うく親人功を他人に改補せられし後子
 をふけり給かへしなまらまきなまもちあうあ
 くれきせりしなまきあはりし生曆二年月





伊予のあわく次乃日か魚いあつさきや伊予
 市ら春日川に春日よすいりてこりりてん不
 りほき経道橋のりもてくお儒いあつさきや
 忽ち神息成か少皇てこうるさるをさうして
 けいそく海をけいそく下りりり橋乃左右の
 人々古僧尺大崇大明神のゆわ生たけんぬさ
 ことしひらわとけん此後い何らよ崇ぬさ
 の大崇南正大明神とけみとなんさわ正徳大
 まり〜あわて経道のとさ崇かさうさうあわ
 けためて後生崇引道すあわけん〜





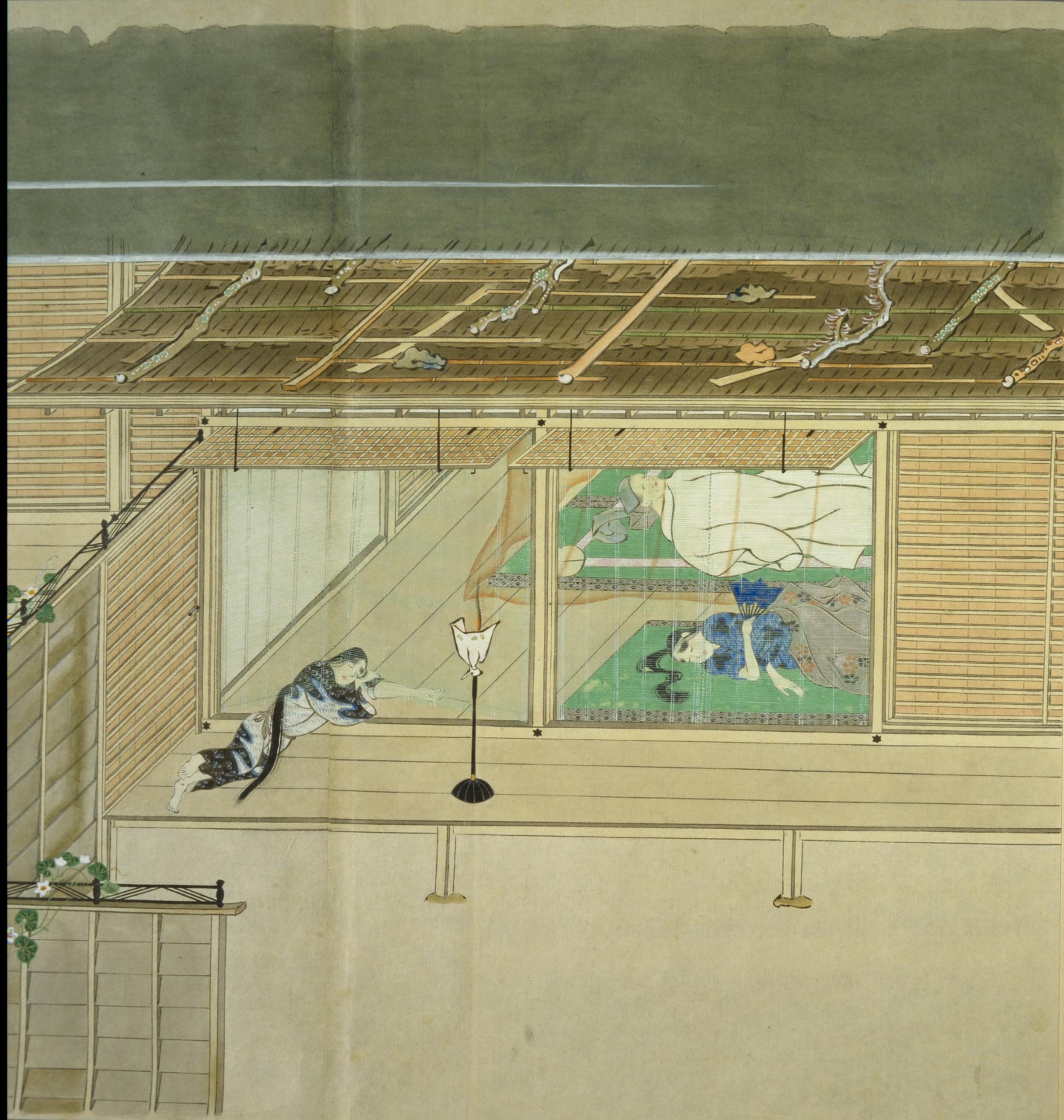
所たれそ 後生者 引道すあわげん



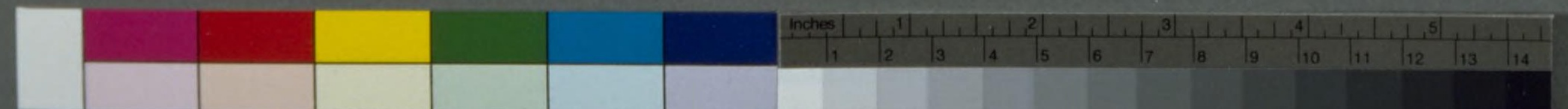








奥福寺の善通 徳良といふ僧の母は善通
 願申比良左衛門公末加乃左の善通あり人
 徳公云云沙南其大徳神といふ善通云云
 善通あり一々身業有善通善通あり
 一善通善通善通徳をあらはし有善通
 善通善通いふ善通善通一及善通善通
 善通善通善通善通善通善通善通善通
 善通善通善通善通善通善通善通善通
 善通善通善通善通善通善通善通善通





湖津此のいふ志古其一反と云ふ所
 こそ其の起る見下所乃持物成あり
 以て利益莫大なりと云ふ見たり

真福寺堀所範顯寺主生保あり正月十日
 時乃為小春日社系緒七帯後の前若



奥福寺堀前範顯寺主世保あり正月十日寅

時乃著小春日社糸緒して幣屋の前若

藤のりらに倚くは南北方候すはるる人

てなり原内た巻いりて若君の十七いさわ

たけいしは梅門のたよとせ新と見え

いさまつははる瑞籬乃西のほより東

常乃信ありれらにわめよとせいさ

範顯はははせらるやうにまの凌は川

かうはつるやまきしり作らるる家た

物ら掬乃けんねいさ川いさつと申也

後まは掬つるりて進志よとせいさ

れうま川いさまのまきしり作らるる

と作らるる範顯かこまりて承はぬと

このよし或作らるる美取川志りし

せは信えぬてり乃茶は難滋し中さ

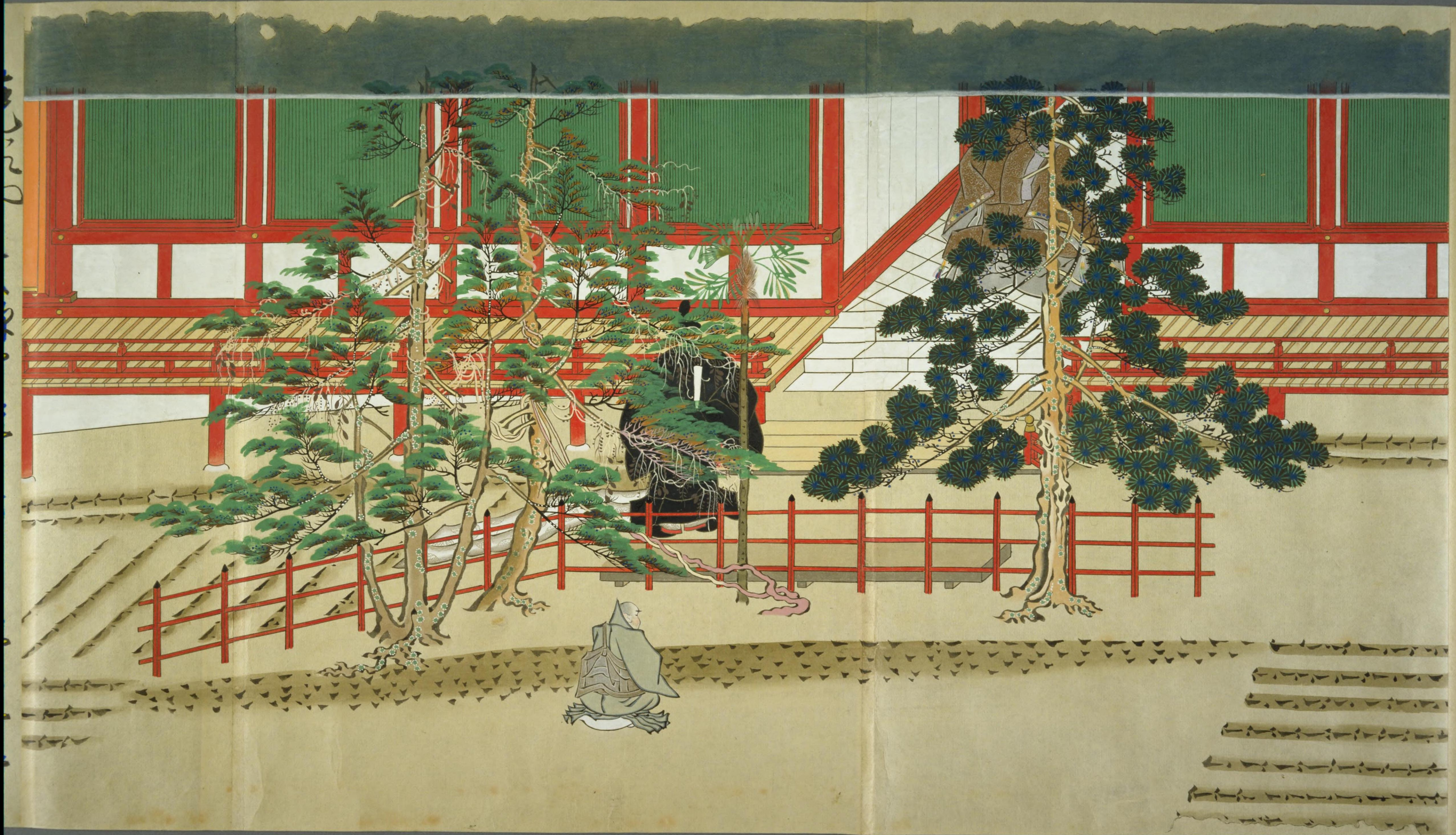
別しは信えぬてり乃茶は難滋し中さ

しは信えぬてり乃茶は難滋し中さ

しは信えぬてり乃茶は難滋し中さ

しは信えぬてり乃茶は難滋し中さ





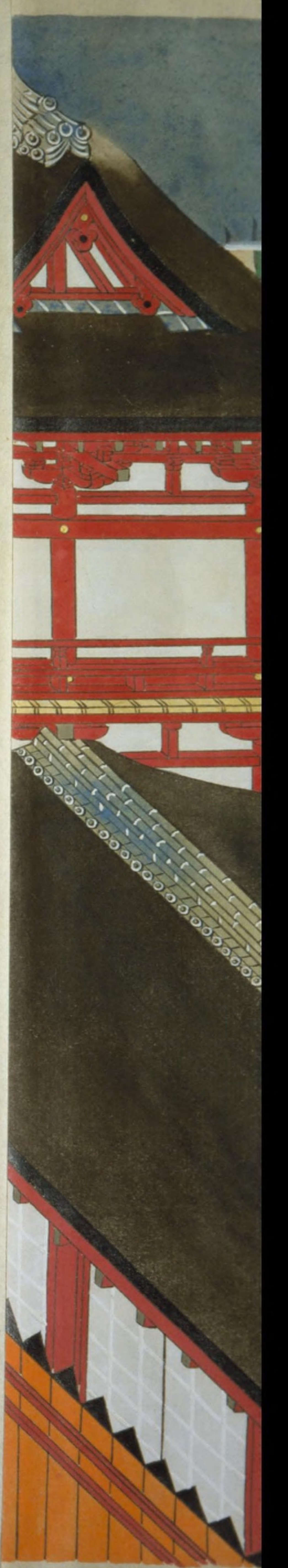


範駝や之禱堂流よ侍方標形本程を
 申切らそまゝに作す禱此袋より
 其其着の故不ありて流りえ
 多り今程者同日二月十六日近赤糸人
 多り流りてらひくく社壇若変ありそ
 古方標流りて拜を奉次郎序唱
 幕序若秘曲流りて一公衆留
 筆 力秋大鼓 氣貫 多りまゝ
 何あつたあ衆しとふる也



右に師澄孝心新家若女殿及不樂殿





方々神濱事心新家若女居又西榮有と
 明八人若後又大河乃河と栄子年
 知波のありと之録有
 若ありを茶屋 御笠大茶屋
 慈母大茶屋 性生お茶屋
 若れ若かよとありと見立也





